

2022年  
1月



# ちばさぽ通信

Vol.47

## 駆けだせ! 跳びだせ! 未来はそこだ



### CONTENTS

#### ● 事業&活動報告

● 千葉市民活動フェスタ 2021

#### ● ちばさぽの風 Vol.47

#### ● 登録団体活動紹介コーナー

#### ● CatchUp

#### ● ちばさぽからのお知らせ

- 市民活動ステップアップ講座
- まちなかボランティア養成講座
- シニア世代の地域活動促進セミナー
- 千葉市を元気にするフォーラム
- 市民活動交流サロン



#### 表紙の写真

特定非営利活動法人千葉中央おやこ劇場の活動の様子

編集・発行

## 千葉市民活動支援センター

指定管理者: まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会共同事業体

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL: 043-227-3081 FAX: 043-227-3082

Mail: info@chiba-npo.net

Web: <https://chiba-npo.net/>

Facebook: <https://www.facebook.com/chibasapo>



#### 〈開館時間〉

平日・土曜  
午前9時～午後9時

日曜・祝日  
午前9時～午後6時

#### 〈休館日〉

年末年始  
(12月29日～1月3日)



## オンライン中心での千葉市民活動フェスタ2021 閉幕

### ■ 2回目となるオンライン中心での開催

今年のテーマは「100の思いを千の未来へ」。今年は従来のように展示や体験・相談・物販そしてステージ発表などができるかと思いましたが、まだまだ状況が好転せず、実行委員会で、今年もオンライン中心での開催という決断がされました。11月7日から12月5日の約1ヵ月という開催期間を経て無事に閉幕を迎えました。



### ■ 充実のプログラムを展開

開催期間中「千葉市民活動フェスタ2021 特設ウェブサイト」を公開しました。参加各団体の情報を紹介する専用のページを充実して、一日限定のインターネット放送局「ちばさぼTV」を開設。千葉市にゆかりのあるマスコットキャラクター達とYouTubeを活用したライブ放送を行いました。

マスコットキャラクター達による「ポッチャ」対抗戦は、パラスポーツ情報も交えての実況中継でお届けしました。

なお、特設ウェブサイトは再公開しています。「ちばさぼTV」を見逃した方はぜひご覧ください。



<https://chiba-npo.net/festa2021/>

### 【市民公益活動団体の紹介】11月7日～12月5日

特設ウェブサイト内の参加各団体専用の紹介ページでは、活動の様子や団体のイメージ写真に加え、動画や各団体が所有しているホームページやブログも見られるようにしました。



### 【資料の配架】開催期間中

ちばさぼでは、特設掲示板を設けて、参加団体の資料を紹介。また11月20日と21日には、きぼーるアトリウムに資料を配架。訪れた人に持ち帰っていただきました。

### 【団体紹介動画収録会】10月31日・11月6日

フェスタ参加団体に動画収録のサポートプログラムも用意しました。完成した団体の紹介動画は特設ウェブサイトにて公開しています。

### 【インターネット放送局】11月21日に開局

きぼーるアトリウムに1日限りのインターネット放送局を開設。番組冒頭には神谷俊一市長がライブ出演して下さり、ご挨拶に続いて、ポッチャの始球式も務めていただきました。また交流サロンや市民活動マッチングプログラムなどライブ放送。市民公益活動やボランティア・パラスポーツなどの情報を様々な角度から発信の機会を創れたのではないかと思います。みなさまありがとうございました。



## ミニコラム

# ちばさぼの風 vol.47

## 助成金獲得の本当の意義

「助成金」は、市民活動団体の主な資金源の一つです。融資と違って返済不要な助成金は、利益を上げることを中心としない市民活動団体にとっては、貴重な資金源といえるでしょう。ただし、単に条件を満たしているだけでは獲得することはできず、審査を通過しなければなりません。書類だけでなく、プレゼンテーションによる審査が行われることも多くあります。

応募書類の作成やプレゼンにはコツがありますが、それをこのコラムの中で伝授することは難しいので、ここでは助成金獲得の「本当の意義」について述べたいと思います。「資金が得られること以外に何の意義が?」という声が聞こえてきそうですが、以下、2つの段階に分けて記します。

### ① 応募や審査の段階における意義

「事業(活動)のことをしっかりと考える機会になる」というのが大きな意義です。審査では、事業のことをわかりやすく審査員に伝えなければなりません。応募の前に、提出書類をメンバー以外の第三者にも見てもらうとよいでしょう。また審査会は公開で行われることも多いので、他団体の事業内容や発表方法などから学びが得られるかもしれません。残念ながら不採択になったとして

も、応募や審査の段階で得られるものは多くあります。

### ② 事業実施中・実施後の意義

晴れて審査に通ると、助成元がHPで団体のことや事業の紹介をしてくれます。自らも、競争を勝ち抜いて採択されたことを、団体のPR材料に使いましょう。そして事業実施中から、成果を次にどうつなげるか、どのように活動を展開していくかを考えることが不可欠です。助成金を使い切ったらまた次もらえばいい、という考えは禁物です。助成金は使うのではなく「活かす」という視点を持つことで、今後の団体の活動に拡がりが出てくるでしょう。

千葉市では、6区それぞれの地域振興課が、「地域活性化支援事業」という助成金の交付団体を毎年募集しています。各区でスケジュールは多少異なりますが、まさに募集中で、応募締切は1月中旬から末日という区が多くなっています。ぜひこの機会に助成金獲得にチャレンジしてみたいかがでしょうか?

詳しくは「●●区地域活性化支援事業」で検索するか、当センターまでお問い合わせください。応募書類作成に関するご相談も、お気軽にどうぞ!(は)

## 登録団体活動紹介コーナー

### 特定非営利活動法人健康サポーターJAPAN

活動エリア▶千葉県内、鎌ケ谷市

所在地▶千葉県鎌ケ谷市東道野辺5-2-33

連絡先▶090-9386-2304 info@kenkosupporter.com

担当者氏名▶飯村 隆志

病気の有無に関係なく自分らしく「健康」に生きることをお手伝いする活動をしています。病気の方をサポートが訪問・支援する訪問型支援活動の他、将来の健康のために無理なく続けられるエクササイズをみんなで一緒にやる活動、健康に関心がある方が集まるコミュニティーを運営する活動をしています。オンラインでもご参加可能です。詳細はホームページをご覧ください。



### よみよみの会

活動エリア▶千葉市あるいは周辺地域

所在地▶千葉市

連絡先▶090-7255-6296 yomiyomi0010@gmail.com

担当者氏名▶出納 いずみ

今年、8年目に入る朗読のグループです。「個性豊かに楽しく」がモットーです。4月(2月12日以降に日時決定)に「林芙美子の『夜猿』と画家・青木繁」というタイトルで、フリーアナウンサーの山川建夫さんとにゃん原律多さんをゲストに、ピアノあり、画像ありの「朗読会」を計画。皆さんに楽しんでいただけるものと思います。会員も募集。お気軽にご相談ください。見学OK。



<https://yomiyomi001.livedoor.blog>

### NPO法人Accessibility innovations

活動エリア▶千葉県

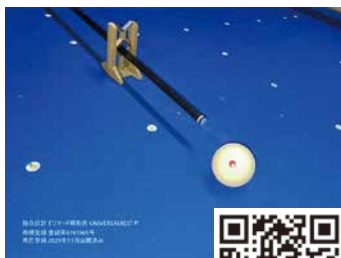
所在地▶千葉市中央区要町10-4

連絡先▶accessibilityinnovations@gmail.com

担当者氏名▶深谷 隆善

2017年8月に千葉市民活動団体Accessibility Billiards Clubとして立ち上げ、2021年10月にNPO法人化しました。より活発に活動を展開していくつもりです。よろしくお願いたします。

「ハンディがあっても毎日を元気に、健康に過ごしたい。」心も身体も健康であるために。そのためのヒントが、生きがいを持つことだと私たちは考えています。



### 特定非営利活動法人 千葉言友会

活動エリア▶千葉県内(千葉市、松戸市、木更津市)

所在地▶千葉県佐倉市

連絡先▶090-5423-3294 chibagenyuukai@gmail.com

担当者氏名▶松尾 久憲

吃音(話しことばがどもること)を持つ人たちのセルフヘルプグループで、50周年を迎えます。2003年にはNPO法人としての認証されました。吃音は、社会生活や学校生活においていじめを生み、就職を難しくするなど多くの問題を孕んでいます。その解決に向け、毎月の例会、吃音を考えるつどい、会報の発行、啓発・相談活動などの活動を行っています。当事者だけでなく、保護者や支援者、専門家の方も参加しています。

千葉吃音を考えるつどい(2019年6月9日)  
衛池 貞和(きくち よしかげ)先生 を迎えて  
九州大学病院 耳鼻咽喉科医師



<https://chibag-y-k.jimdofree.com/>

## CatchUp

### “活動部会”のイベント情報

複数の登録団体や異なる主体が連携し、共通の目的に向かって活動するのが“活動部会”です。今年度新たに立ち上がった2つの部会が開催するイベントの情報をお知らせします。

#### オンラインウエルフェスタ2022 with RDD in ちば 部会名: ウエルフェスタ実行委員会

「難病になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で暮らしたい」をスローガンに、難病や障害、認知症について多くの市民に関心をもってもらうことで、当事者や活動団体への理解促進、支援につなげていくためのイベント。

日時▶2022年3月5日(土) 10:00~13:00

会場▶オンライン(Facebookライブ配信)

<https://www.facebook.com/2021WF>

内容▶心臓病の子どもをサポート、認知症カフェ、ユニバーサル観光推進、思いやりの防災士などの市民活動の紹介

(※詳細は、上記のFacebookページをご覧ください。)

お問合せ▶TEL 090-9966-5683(ナガムネさん)

#### 『イントランス(不寛容)の時代』上映と交流会 部会名:『イントランスの時代』を観る会

TVドキュメンタリー番組『イントランスの時代』(JNNネットワーク大賞受賞)を視聴し、日本の社会に潜んでいる「不寛容」について、制作者の神戸金史さん(RKB毎日放送報道局)のお話もうかがい、参加者と交流をするイベント。

日時▶2022年4月10日(日) 14:00~16:00

会場▶オンライン

内容▶障害者施設での殺傷事件、沖縄に対する攻撃、歴史の改ざん、取材記者への攻撃などの番組を視聴し、制作者と交流。

申込先▶E-mail izumic733@gmail.com

(※お名前、TEL、お住まいの区、所属を記入。)

お問合せ▶TEL 090-7255-6296(スイトウさん)

# ちばさぽ からの お知らせ

## ■ 市民活動ステップアップ講座のご案内

「団体紹介リーフレットをつくろう！見直そう！」

昨今のデジタル社会においても、“偶然の出会い”を生み出すことができる紙媒体は、市民活動団体の広報に欠かせません。そこで「リーフレットづくり」をテーマに、団体の魅力を伝えるためには、何をどう書けばよいのかを、個人ワークも交えて学べる講座を開催します。パソコンでのデザイン技術を学ぶ内容ではありません。オンライン（Zoomを利用）と対面参加のいずれかが選べます。



**日 時**▶ 2022年2月23日(水・祝) 14:00~16:00  
**会 場**▶ オンラインおよび千葉市民活動支援センター会議室  
**講 師**▶ 大澤元貴さん グラフィックデザイナー-gente編集部  
**定 員**▶ オンライン30名程度、対面8名程度  
(※いずれもお申込み先着順)  
**締 切**▶ 2月20日(日) 18:00 **参加費**▶ 無料

## ■ まちなかボランティア養成講座・最終回！

【はじめの一歩を今こそ】

「人には親切にしたい」という人を応援します。国による文化の違い、障害に関する知識、千葉市の歩みなど、面白くて役に立つ楽しい講義から、ボランティアの「はじめの一歩」を踏み出しましょう。

【どなたでも参加できます】

中学卒業以上で、千葉市在住・在勤・在学または市内で活動する方、どなたでも受講できます。これまで機会を逸していた方はぜひ！

**日 時**▶ 2022年2月6日(日) 13:00~16:30  
**会 場**▶ 千葉市蘇我コミュニティセンター3階 講習室1・2  
(千葉市中央区今井1-14-43 蘇我駅西口から徒歩5分)  
**定 員**▶ 20名 **参加費**▶ 無料



## ■ シニア世代の地域活動促進セミナー

「1階づくり」から楽しむ「まちづくり」@千葉  
～パーソナル屋台ってなに？～

ほしいものは、自分たちでつくっちゃおう！という精神で生まれた「ランドリー喫茶」「パーソナル屋台」など講師の斬新な実例を聴き、その発想と実践から、自分たちのまちには、何ができるか、話し合ってみませんか？



**日 時**▶ 2022年1月29日(土) 13:30~16:30  
**会 場**▶ オンラインのみ (Zoomミーティングを利用)  
**講 師**▶ 田中 元子さん (株)グランドレベル代表取締役  
**定 員**▶ 50名(定員を超えた場合は締切後抽選)  
**締 切**▶ 1月17日(月) 18:00 **参加費**▶ 無料  
**対 象**▶ 千葉市在住・在勤・在学・在活動の方でZoom経験者

## ■ 千葉市を元気にするフォーラム

住みたい千葉をめざして～環境・格差・働き方等から～

「住みたい千葉」のために自分たちでできることを考えようというフォーラムです。地域で、誰かと何かをやりたいたい方におすすめの企画！今回は「環境・気候変動」「格差社会」「働き方」などの視点から、3人の方に話題提供をしていただきます。オンラインですが、後半はグループでテーマ別の話し合いをします。

**日 時**▶ 2022年2月27日(日) 13:30~16:30

**会 場**▶ オンラインのみ (Zoomミーティングを利用)

**定 員**▶ 30名(申込み先着順)

**締 切**▶ 2月20日(日) 18:00 **参加費**▶ 無料

**対 象**▶ 千葉市在住・在勤・在学・在活動の方でZoom経験者  
※申込時にテーマを選択:「環境」「格差」「働き方」「他の希望テーマ」  
【話題提供者】

環境・気候変動	格差社会	働き方
桑波田 和子さん (環境パートナーシップちば代表)	松尾 圭さん (生活立地戦略センター若菜センター長)	山岸 薫さん (おとな食堂代表)
		

## ■ 「市民活動“大交流”サロン」開催予告

ちょっと早めの年度末企画の予告です。(詳細は検討中のため、概要のみのご案内となります。)ここ数回の市民活動交流サロンはライブ配信のスタイルで、ゲストの方以外は、視聴やコメントのみでのご参加でした。

今回は本来の趣旨に戻し、参加者の方同士がつながることができるよう、対面とオンラインの複合方式で、オープンなサロンを開催します。お仲間募集やイベントの告知、来年度の市民活動の夢などを皆で語り合い、つながりを広げませんか？詳しくは決まり次第、センターのHPやFacebook等でご案内しますので、どうぞご注目ください。

**日 時**▶ 2022年2月12日(土) 14:00~16:00  
**会 場**▶ オンラインおよび千葉市民活動支援センター会議室  
**定 員**▶ 対面=10名程度、オンライン=30名程度

### ○お申込み方法(すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

①講座名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

※オンライン参加を希望の方は、メールでお申込み下さい。



## 「マイパブリック」… まちづくりの新たな「攻め方」

公共が不備なら「つくればいいじゃん!」。椅子ひとつ置くだけで、建物や大通りが、緩やかに人とつながるマイパブリックに変貌。1階から街を変える作戦、面白そうでしょ。(田中元子著・晶文社)



## 編集後記

■令和4年は壬寅(みずのえ・とら)。芽吹く準備、新たな命を育む静謐、そんな意味合いの年回りだそうです。ながしたき事あまたあり冬の川(や)■2022年のスケジュール整理をしていて手帳を開いている自分に苦笑!新年はスマホを活用しようと思っていたのに(さ)■いろいろな事業がオンラインからハイブリッドになりつつあります。今年は、対面の事業がもっと増えますよーに!(か)■最近、センターの外で仕事をする機会が多くあります。初めて入る施設、初めて歩くまち、初めて出会う人…。多くの刺激をいただいています。(は)■2022年も綺麗な青空が広がる日々でありますように。素敵なお天の2021年12月より(な)